

# インプレッションクリア現地使用事例① 北海道

2018年7月

部会：A地区トマト部会

対象作物：トマト（温湯管による加温栽培）

対象病害：灰色かび病

病害発生状況：例年、灰色かび病の発生多く（2月激発）収量減

防除提案：化学剤体系防除 + インプレッションクリア混用

試験開始時、灰色かび病発生あり（少発生）

2/23より殺菌剤A、展着剤S、インプレッションクリア混用散布

以後、（～7/12）

2週ごとにインプレッションクリア（1000倍）もしくは化学剤混用散布



結果

少発生からの防除であったが、発病抑えた。途中4月に葉搔き跡から茎への感染があったが、殺菌剤Bとの混用処理で病害進展は認められなかった。6月以降、コナジラミ防除に力をさく余裕が出来、病害虫被害による減収はかなり抑えられた。

## 防除履歴

月日	薬剤名	倍率 (倍)	薬量 (g・mL)	散布量 (L/10a)
1月29日	殺虫剤E	1000	300	300
2月23日	インプレッションクリア	1000	300	600
	殺菌剤A	2000	150	
	展着剤S	1000	300	
3月10日	インプレッションクリア	1000	300	300
	展着剤S	2000	150	
3月20日	インプレッションクリア	1000	300	300
	殺虫剤A	2000	150	
	展着剤S	1000	300	
4月13日	インプレッションクリア	1000	300	300
	殺菌剤B	1000	300	
	殺虫剤B	1500	225	
	展着剤S	1000	300	
4月27日	インプレッションクリア	1000	300	300
	殺虫剤A	2000	150	
	展着剤S	1000	300	
5月14日	殺虫剤C	2000	150	300
	展着剤S	1000	300	
5月30日	インプレッションクリア	1000	300	300
	殺虫剤D	2000	150	
	展着剤S	1000	300	
6月17日	インプレッションクリア	1000	300	300
	殺虫剤E	2000	150	
	展着剤S	1000	300	
6月30日	殺菌剤B	2000	150	300
	殺虫剤A	2000	150	
7月12日	インプレッションクリア	1000	300	300
	展着剤S	1000	300	

# インプレッションクリア現地使用事例② 北海道

2018年8月

品種：桃太郎ワダー

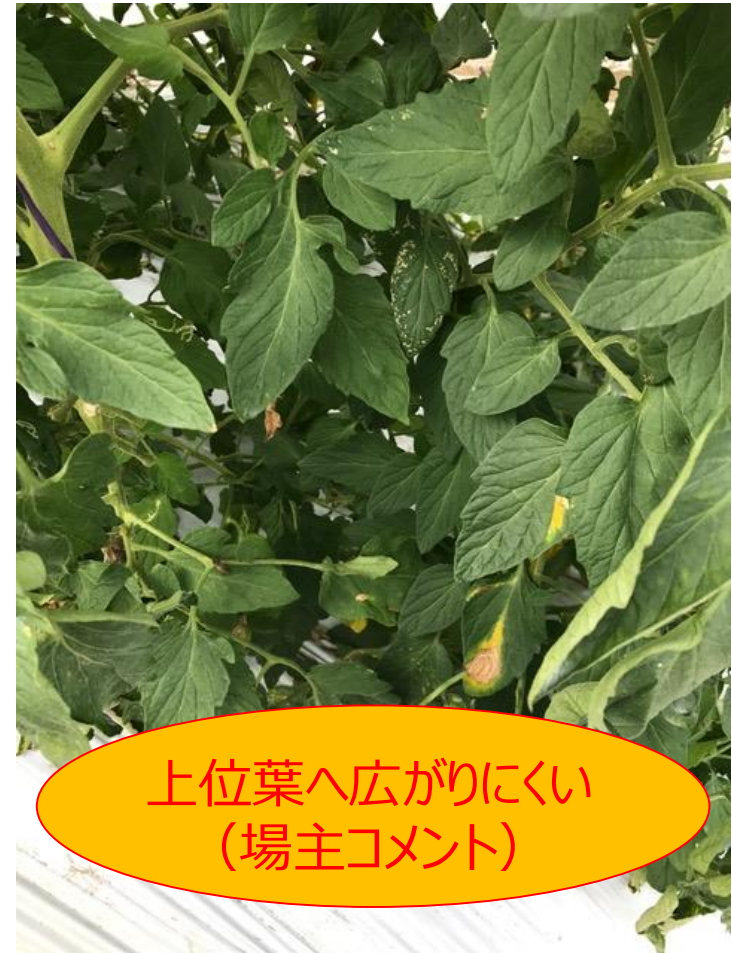
対象病害：灰色かび病、うどんこ病（特にうどんこ病発生が多い地区）

※殺菌剤は殺菌剤C、殺菌剤D（展着剤A）

殺虫剤、殺菌剤散布の際に、インプレッションクリア1000倍で混用



インプレッションクリア無散布区



上位葉へ広がりにくい  
(場主コメント)

混用散布区